

ジャマイカ政治・経済月間情勢（2021年1月）

【要旨】

内政では、ジャマイカは腐敗認識指数において180カ国中69位であった。経済では、ジャマイカ統計研究所（STATIN）によると、2020年10月の失業率は10.7%で、2019年の同月と比較し3.5%の増加が見られた。新型コロナウイルス関連では、中国、インド及びキューバからのワクチン供給に係る協力要請を検討している。

1 内政

（1） 腐敗認識指数

ジャマイカは、2020年の腐敗認識指数（CPI）において2019年の44点から43点に上昇し、180カ国中69位と依然として世界で最も汚職が多い国の一つである。（指数は最高100点で、点数が少ないほど汚職が多いことを示す。）（29日付グリーナー紙）

2 経済

（1） コーヒーの国内消費促進

ジャマイカコーヒー輸出協会ノーマン・グラント会長は、新型コロナの影響により付加価値商品の輸出が厳しく制限され、75万ポンドの過剰供給があるとして、2021年は国内での消費増加を促進する必要があると述べた。（6日付オブザーバー紙）

（2） エネルギー分野のレジリエンス向上

バス科学・エネルギー・技術大臣は、民間企業主導による国内のエネルギー分野におけるレジリエンスを高める事業を促進するため、USAIDによる400万米ドルの支援を通し、観光業における分散型エネルギーの導入及びコミュニティ太陽光発電の効果を実証する3年事業を実施する旨発表。（15日付広報局）

（3） 35億ドル支出減

クラーク財務大臣は19日、2020年度第3補正予算を議会に提出し、同四半期において35億ドルの支出の減少があると明らかにした。（21日付広報局）

（4） 失業率増加

ジャマイカ統計研究所（STATIN）によると、2020年10月の失業率は10.7%で、2019年の同月と比較し3.5%の増加が見られた。（21日付広報局）

3 外交

（1） 核兵器禁止条約

ジャマイカは、22日の国連核兵器禁止条約の発効を締約国として祝福した。（24日付オブザーバー紙）

(2) UNICEFによる支援

10代の母親を支援するジャマイカ基金女性センターは、UNICEFより母親たちの学習機会向上に向け1.1億ドルの支援を受けた。(29日付オブザーバー紙)

4 新型コロナウイルス関連

(1) ワクチン

ア 各国への協力要請

ジャマイカ政府は、中国、インド及びキューバと新型コロナワクチン供給における協力を求める二国間協議を検討している。2021年中にCOVAX (COVID-19 Vaccines Global Access) Facilityにより、16% (48万人) のジャマイカ国民へのワクチン接種可能になる見通しであるが、より多くのワクチンを調達するため各国の協力を仰ぐ。(13日付グリーナー紙)

イ 調達予定時期

約14万6千人分のワクチンが4月にジャマイカに到着予定である。医療従事者を含む特定の個人が優先される。(12日付オブザーバー紙)

ウ 経費

政府は、新型コロナワクチンプログラムの実施に伴い、30億ドルの支出があると見込んでいる。(20日付広報局)

(2) 旅行者への検査無料提供

ジャマイカの主要ホテルは、旅行者がジャマイカからの帰国時に必要となる新型コロナの検査を無料で提供する。保健省は抗原検査3万回分を民間の検査機関に委託した。(15日付オブザーバー紙)

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。